

## 平成 27 年度市立砺波総合病院経営改善委員会の開催について

「市立砺波総合病院経営改善委員会」を開催し、経営状況等の点検及び評価を行いましたので公表します。

市立砺波総合病院では、砺波医療圏の中核病院として安全・安心・良質な医療の提供と、健全経営をめざし安定かつ継続的な経営改革への取り組みを目標とし、市立砺波総合病院中長期計画（後期計画）（計画期間平成26年度から30年度）を策定し、この計画に基づく経営状況を点検及び評価を行うため、市立砺波総合病院経営改善委員会（以下「経営改善委員会」という。）を設置しております。

経営改善委員会は、医療関係者のほか、経済界、市民団体、行政等の様々な専門分野の委員8名で組織されており、市立砺波総合病院の経営改善に関する事項等について点検及び評価いたしております。委員の皆さんは次のとおりです。

要綱に基づく区分	役 職	氏 名	
医療政策に指導的立場に立つ医療関係者	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科長 医薬保健研究域医学系長	金子 周一	委員長
砺波医療圏における医師又は看護師等が組織する団体の代表者	砺波医師会会長	金井 正信	
市民が組織する団体の代表者	砺波市自治振興会協議会会長	小幡 勝義	
	砺波市連合婦人会会長	大井 千津子	
その他学識経験を有する者	砺波商工会議所会頭	大島 肇一	
	税理士	水木 保男	
行政関係者	富山県砺波厚生センター所長	大江 浩	
	砺波市副市長	齊藤 一夫	

市立砺波総合病院経営改善委員会の開催の概要は次のとおりです。

- (1) 日 時 平成27年11月6日(金) 午後4時より午後5時40分
- (2) 場 所 市立砺波総合病院南棟2階第1会議室
- (3) 出席委員 経営改善委員会委員8名
- (4) 協議事項 主な報告内容は次の通りです。

- ① 平成26年度経営状況について  
職員数の増加等に伴う給与費の増加や控除対象外消費税の負担増等に伴う費用の増大と会計制度の見直しの影響により、6年ぶりの赤字決算となった。
- ② 平成27年度（上半期）経営状況について  
平均在院日数の短縮化に伴い、延べ入院患者数が減少し収益も低迷している。本年度も収支は厳しいと予想している。
- ③ 経営改善の取組みについて  
地域医療との機能分化と連携の取組みを強化するため、患者総合支援センター「おあしす」の機能を充実するとともに、患者紹介・逆紹介を推進している。  
訪問看護事業を市役所から当院の地域医療部に移管するとともに、職員を増員し体制強化を図った。  
院内業務（給食調理業務）の民間委託を検討し、導入の準備を進めている。  
職員の人事評価制度の完全導入の準備を進めている。
- ④ 今後の収支の見通しについて  
平成30年度までの収支見通しでは、引き続き減価償却費や控除対象外消費税の負担が大きい。今後も経営改善を継続していく。
- ⑤ 新公立病院改革ガイドラインに基づく新公立病院改革プランについて  
今般、総務省より現在医療圏内で協議している地域医療構想と整合性を持つ新たな改革プランの策定を求められている。地域医療構想を踏まえて素案を策定し、経営改善委員会で協議し、平成28年度中に公表したい。

委員からの主な意見や質問は次の通りです。

- ・消費税増税の影響について
- ・ドクターヘリの運航状況について
- ・患者数の減少の要因を分析し、患者動向の把握と対策を検討されたい
- ・災害拠点病院として災害医療の充実強化を求める
- ・院内業務（給食調理業務）の民間委託の検討について
- ・高齢化社会や地域性の観点から、常勤の呼吸器科医師の確保を求める
- ・地域包括ケア病棟の一層の活用を検討されたい
- ・平均在院日数の短縮化が進んでいるが、丁寧な診療を心がけていただきたい
- ・現在地域医療構想の策定中であるが、市立砺波総合病院には引き続き地域の中核病院の機能を保持されたい